

# オーストラリア金融政策（2019年12月）

## 2会合連続の据え置き

2019年12月3日

### 次回会合での利下げを示唆せず

2019年12月3日（現地）、RBA（オーストラリア準備銀行）は市場予想通り政策金利を0.75%で据え置くことを発表しました。声明文では、「必要であればさらに金融緩和を行う準備がある」との表現を残すことで緩和姿勢を維持する一方、「今年の利下げが雇用や賃金の増加ならびにインフレ率の中期的な目標への回帰に向けた動きを支援している」などと、引き続きこれまでの利下げの効果を見極めようとする姿勢もつかえます。また、国内経済に対する見方は前回からほとんど変化していませんが、足元では世界経済の下振れリスクが後退していると述べるなど、全体としてはややポジティブな内容となりました。

声明文が発表される前までは、多くの市場参加者が来年2月に予定されている次回会合で0.25%ポイントの利下げが実施されると予想しており、声明文で利下げを示唆する記述があるか注目されました。しかし、声明文からはそのヒントを得られず、金融市場は金利上昇・豪ドル高で反応しました。今後、2月までに世界経済ならびにオーストラリア経済の回復期待が一段と高まれば、利下げ織り込みがはく落する可能性は十分にあると考えています。その場合、市場金利は現状よりもやや上昇し、今年8月を底に緩やかに反発している豪ドル円についてもさらなる戻りを試す展開が期待できると思われます。引き続き、米中関係を中心とした世界情勢やオーストラリアの労働市場のデータに注目する必要があります。

#### オーストラリアの平均賃金の伸びと失業率



(出所) オーストラリア統計局

#### オーストラリアの金利と為替



※政策金利は決定日ベース  
※10年国債利回りと豪ドル円は12月2日までのデータ

(出所) ブルームバーク

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

- 当資料は投資判断の参考となる情報提供を目的として大和投資信託が作成したものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資信託のお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認ください。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。また、記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。